



平成 29 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 エス・サイエンス
代表者名 代表取締役会長 品田 守敏
(コード： 5721 東証第1部)
問合せ先 取 締 役 社 長 甲佐 邦彦
(TEL. 03 - 3573 - 3721)

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 8 月 14 日に発表いたしました平成 30 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想における予想値と本日発表の決算において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 8 月 14 日に発表した平成 30 年 3 月期 通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期累計期間業績予想と実績の差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)
(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年 8 月 14 日発表)	500	△100	△90	△95	△0.94円
今回実績(B)	567	△168	△139	△143	△1.43円
増減額(B - A)	67	△68	△49	△48	—
増減率(%)	13.4	—	—	—	—
(参考)前年同四半期実績 (平成 29 年 3 月期 第 2 四半期)	412	△153	△115	△81	△0.81円

差異の理由

第 2 四半期累計期間につきましては、その主な理由として売上高は、不動産事業において第 3 四半期以降に販売を予定していた物件を販売のタイミングを計っていたところ、好条件で当第 2 四半期累計期間に販売することが出来、教育事業の売上の減少があったものの売上予想を上回りました。

営業利益は、ニッケル事業においては LME 価格の下落により在庫簿価が販売価格を上回ったこと、教育事業においては校舎の閉鎖等により生徒数が当初の予想を下回り売上が減少したこと、リストラに係る経費増加により、前回予想を下回りました。

有価証券評価益等を加味しましたが、経常利益、当期純利益は前回予想を下回りました。

なお、前回予想には営業外損益には、有価証券評価損益は反映しておりません。

2. 平成30年3月期 通期業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成29年8月14日発表）	1,200	△70	△55	△65	△0.64円
今回修正予想（B）	1,050	△220	△185	△195	△1.94円
増減額（B－A）	△150	△150	△130	△130	—
増減率（％）	△12.5	—	—	—	—
（参考）前期実績 （平成29年3月期）	1,306	△92	25	44	0.44円

修正の理由

その主な理由として、教育事業部において第2四半期累計期間における徹底的なリストラによる一時的な経費拡大と校舎の閉鎖等により生徒数が当初の予想を大幅に下回り売上高が減少し、営業赤字が拡大したことや不動産事業においては販売を予定していた複数の案件を好条件での販売を見はからっていましたが、来期以降にずれ込む可能性もあると判断し下期の売上から1億円除外したため、営業利益、経常利益、当期純利益を見直し前回予想の修正を行ないました。

<業績予想に関する注意事項>

上記の業績見通し及び将来の記述に関する記述は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の実績については様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上